



第86号 平成28年
3月1日



～そだてよう みんなの力で 愛の輪を～



昨年12月12日(土) 矢高生が矢板市道の駅玄関前で赤い羽根共同募金の街頭募金活動をしました。

編集 矢板市蔵町二丁目4番19号
発行 社会福祉法人
矢板市社会福祉協議会
TEL 0287-44-3000
43-8700(あすてらすやいた)
印刷 株式会社 幕 啓

目次

- 福祉のつどい 2
- 福祉教育推進事業 3
- ご協力ありがとうございます 4
- 特集・外出支援マップ 5～8
- 募集・ご利用ください 9～11
- 福祉のこころ推進校の活動 12

第10回 矢板市福祉のつどいが開催されました

日時 平成28年2月17日(水) 13:30~15:30

場所 矢板市文化会館小ホール

式典・表彰 ◎ボランティア部門

◎地域福祉振興基金等寄付

講演会 演題 「ほっとけ心のアップレ介護」

講師 講師 田辺 鶴瑛氏



受賞者 (順不同、敬称略)

◎ボランティア部門

現在活動中のボランティア又はボランティアグループ、ボランティア協力校、その他の団体で、7年以上福祉に関する活動を行い、他の模範である者

赤塚恵美子	磯嶋 トミ	野村 健二
竹田ツネ子	鈴木 晴恵	松本 勝代
小野崎 幸	高柳 澄江	小島 ハマ
高塩十糸子	新井 敏江	三好 東子
樋口 惟邦	齋藤 敦子	

◎地域福祉振興基金等寄付

当該年度において、矢板市地域福祉振興基金(高原基金)に20万円以上寄付された方

池田 光代 矢板カントリークラブ
八板 誠

多年にわたり、矢板市地域福祉振興基金(高原基金)に20万円以上寄付された方

矢板市街商組合

矢板市ファミリーサポートセンター

第21回ファミリーサポートセンター交流会開催

平成27年12月6日(日)矢板公民館でクッキング戦士クックマンと小池祥絵さんをお迎えし、クリスマス料理を作りました。今回は、チキンソテー・オムライス・クックマンサラダ・とちおとめのフランベ雪見だいふく添え4品を作り、クックマンのパフォーマンスで盛り上がり、美味しく楽しくクッキングができました。ご参加くださいました皆さまありがとうございました。



～栃木県老連大学校を卒業しました～

栃木県老人クラブ連合会大学校14期生の卒業式が平成27年12月16日に行われ、矢板市シニアクラブ連合会を代表し、3名の方が卒業されました。

老連大卒業生は地域のリーダーとして活躍が期待されています。

(敬称略)
木幡 東 交友会 室井治三郎
塩田 親和会 根本 副武
針生はまぎくの会 中嶋 宗孝

被災地訪問

平成27年12月12日、社会福祉協議会と風車は被災地支援ボランティアバスツアーを企画し宮城

県東松島市の小野駅前仮設住宅を訪問しました。市内小中学校の皆さんからのクリスマスカードや募金、多くの市民の方々からの米・野菜・おのくん人形の材料等、社協からは恒例のトイレトペーパーと餅を一軒一軒訪問しお渡ししました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。今年も支援を継続していきますのでご協力をお願いします。



平成27年度 福祉教育推進事業は...

小中学校の社会福祉への理解と関心を高めようと、本年度も福祉教育推進費を各学校に交付しました。活動の一部をご紹介します。

片岡中学校では...

- ・高原学園たかはら祭り
- ・地域交流たかはら秋のスポーツフェスタ
- ・市福祉まつり

毎年、多数の生徒が地域での様々なボランティア活動に参加しており、地域の一員であることが自覚できる良い機会となっています。福祉教育推進費を利用して今年も昨年同様、その際に着用するビブスを購入しました。諸団体と活動する中で責任ある行動を促し、片岡中生として活動していることを周囲にアピールすることができました。



たかはら学園のスポーツフェスタにて

他の学校では...

矢板小学校

疑似体験・福祉施設訪問

東小学校

点字体験・疑似体験

片岡小学校

祖父母交流会・デイサービスセンター訪問

安沢小学校

高齢者交流学习・花壇づくり

川崎小学校

高齢者交流活動・障害の疑似体験

泉小学校

地域を支える人たちの交流活動・施設訪問

豊田小学校

高齢者との交流活動・福祉施設訪問

乙畑小学校

高齢者との交流会・手話・点字等教材購入

矢板中学校

市内清掃・ボランティア活動・施設訪問

泉中学校

運動会への高齢者招待事業・公共施設へのプランター設置福祉まつり参画

年末年始ボランティア活動事業報告

団 体

ボランティア活動

風車	震災被災地視察および訪問。仮設住宅の方へ市民の方々からのプレゼントと募金を届ける
老人給食ボランティア	老人給食受給者へ、年末年始にかけての特別食を提供
矢板市シニアクラブ連合会	「やしお苑」を訪問。クリスマスと新年の飾りつけとして花のプランターの寄付
ハッピーいきいきクラブ	ご高齢の方をクリスマス会に招待し、音楽やハンドベル、音楽鑑賞
矢板フォークダンス	施設等にてフォークダンスの発表、利用者と踊る、ゲームを楽しむ、合唱
やまびこの会	「おしゃべり会」にて晴れの日のご馳走作りと、みどりの会による食育講座
福祉のこころ推進校	「つつじ苑」に矢板高校の学生と訪問。お花やクリスマスツリーをプレゼント
傾聴笑がお	「つつじ苑」「やしお苑」に訪問。ひざ掛けのプレゼント
矢板市更生保護女性会	「矢板西小学校」の児童とチューリップの球根植え、「那須学園」訪問。花と果物のプレゼント

母子父子招待事業

平成28年2月21日(日)に今年度も東京ディズニーランドに行ってきました。

●不要入れ歯回収中● ボックス設置場所

- 保健福祉センター1F
- くらし安全環境課(本庁舎1階)
- 矢板・泉・片岡の各公民館
- 泉はつらつ館
- 矢板市社会福祉協議会(さすな館内)

ご協力ありがとうございます

平成27年11月11日～平成28年1月30日受付分

<社会福祉協議会会費>

- (敬称略)
- 特別会費 3,000円
株江部商店
ステーキしおや
尚華清
 - 施設会費 10,000円
こどもの森保育園

<善意銀行預託>

- 平成27年6月1日～平成28年1月30日受付分
(敬称略)
- 月井 純子、高瀬 和夫、喜佐見 キノイ、匿名2名
野菜
 - 安沢ほほえみ会
本だしつけもの他
 - 小川 浩明
米、野菜
 - 匿名
手作りティッシュカバー
 - 匿名
米

<地域福祉振興基金(高原基金)>

- (敬称略)
- 社会福祉法人寿光会
矢板保育園保護者会
矢板保育園職員一同 68,075円
道の駅やいた農産物直売所 62,000円
(株)エイト音楽企画栃木支部 32,116円
宇都宮ヤクルト販売(株) 23,000円
矢板市婦人会 10,000円
泉龍寺写経会 10,000円
ASA矢板齋藤新聞店(11/24分) 5,000円
ASA矢板齋藤新聞店(12/25分) 5,000円
日新GG友の会 5,000円
匿名 10,000円
匿名 5,058円
- 次の方から現金の寄付をいただきました
八板 誠 大森光男 佐賀豊寿 高塩 智

赤い羽根共同募金 平成27年度

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| ■募金の目標額 3,890,000円 | ■募金の使いみち |
| ■実績額 3,946,309円 | ●老朽化した施設の設備改修 |
| ■内訳 戸別募金 3,733,800円 | ●地域福祉活動、福祉団体の育成のため |
| 職域募金 63,996円 | ●災害援護等 |
| 法人募金 34,355円 | |
| 街頭募金 32,059円* | ■募金の配分先と金額 |
| パッチ募金 30,500円 | ●矢板市社会福祉協議会 2,159,370円 |
| イベント募金 18,605円 | ●放課後等デイサービスりんごの木 |
| クオカード募金 1,000円 | 障害者支援に要するパソコン整備 90,000円 |
| その他 31,994円 | |

※赤い羽根共同募金の街頭募金活動にご協力いただきました。
“道の駅やいた”にて矢板高校の生徒7名教員1名が参加。(表紙参照)

歳末たすけあい募金 平成27年度

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| ■実績額 1,960,307円 | ■矢板市内の配分先と金額 |
| ■内訳 戸別募金 1,948,000円 | ●低所得世帯 66世帯109人 1,076,000円 |
| 特殊募金 12,307円 | ●ボランティア活動団体への助成(9団体) 270,000円 |

交流会でグラスコードを作りました ～老人給食調理・配送ボランティア～

平成28年1月27日(水)に老人給食調理・配送ボランティアの交流会を行いました。材料の手芸用ビーズはお弁当受給者の小川民子さん(片俣)からたくさん寄付していただき、講師は齋藤光子さん(石関)をお願いしました。細かいビーズを糸に通す作業は大変でしたが、参加した皆さんは「素敵でしょ!」と自分の出来上がり作品を手にし、楽しい時間を共有することができました。齋藤さん小川さん、ありがとうございました。



～募集しています～

※調理ボランティア※

★ひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯の方にお弁当をお届けするための、調理ボランティアを募集します。
月1回程度(9:00～12:30)ご協力をお願いします。

※配送ボランティア※

★調理ボランティアが作ったお弁当をお届けするための配送ボランティアを募集します。
月1回程度(11:00～12:00)ご協力をお願いします。

急募

※手話講習会受講生※

★耳の不自由な方のコミュニケーション手段である「手話」「指文字」をご一緒に学びましょう。奥が深く、時代に合わせた新たな手話も次々に生まれておりますが、まずは日常の挨拶だけでも覚えて仲間入り。素敵な仲間が待っています。

1. 場 所 矢板公民館 団体事務室
2. 開催日 毎週火曜日(祝日・お盆・年末年始は休み)
3. 時 間 初級、中級ともに19時30分～21時00分
(初心者の方も大歓迎)

※音訳ボランティア (簡単なパソコン操作ができる方)※

- ★活動内容 目の不自由な方へ、市の広報・社協だより・議会だより等をDAISY(パソコンを使用してCDに編集)で郵送します。
- ★活動場所 矢板児童館又は自宅
- ★活動時間 隔月2回(年12回)。
日時、日程はグループで協議

※ボランティア連絡会登録団体※

★随時受け付けております。市内のボランティアグループや市民活動グループの横の連携を密にし、情報交換するため各団体のプロフィールを自由にご覧いただけます。

※米と野菜の寄付の登録をお願いします※

★キッチンやいたとは生活困窮者自立支援制度を利用している方の相談に応じて寄付登録者との間を社協がコーディネートする仕組みです。

★生活困窮者自立支援制度とは生活保護に至っていないが経済的困窮など生活するのに困難な状態にある人に対する自立支援制度です。

活動の流れ

矢板市社会福祉協議会が生活困窮者の支援のために、農家の方や家庭菜園で米や野菜を作っている方の寄付登録を受け付けます。職員が必要な時にご連絡をして伺いますので、事前に来所またはお電話にて登録をお願いします。

キッチンやいた
— 食でつながる人と地域 —



申し込み・問い合わせ 矢板市社会福祉協議会 ☎44-3000

ご利用ください

お気軽にご相談ください

こんなことで困っていませんか？

地域包括支援センターは、高齢者や家族のみなさんが住み慣れたまちで安心して暮らしていけるようにさまざまな面から総合的に支えるために設けられました。

介護に関する心配や悩み、健康や生活のこと、「どこに相談していいかわからない」といった内容でも、高齢者に関することならご相談ください。

矢板市地域包括支援センター

☎43-4611

1

足腰が弱くなって家の中のことが大変になってきたのよ。

困ったなあどうしよう...

2

困ったわねえ〜どうしたらいいのかしら？

どこに相談したらいいだろう？

3

そんな時は!!

矢板市地域包括支援センターに相談してみよう!

4

センター職員が電話やご自宅への訪問等によりお話を伺います。

愛の訪問事業

社会福祉協議会では、80歳以上のひとり暮らしの方の安否確認を主な目的として、ヤクルトの無料配付を行っております。

こんな人が利用できます。

♥80歳以上でひとり暮らしの方
(同一建物・同一敷地内または、近隣に近親者が居住している場合は対象外)

♥デイサービスを週2回以上利用していない方

♥ホームヘルパーを週2回以上利用していない方

♥高齢者給食サービスを週2回利用していない方

申し込み・問い合わせ先 矢板市社会福祉協議会 ☎44-3000

平成28年度の保険加入 受付中!

問い合わせ 矢板市社会福祉協議会 ☎44-3000

平成27年度のご加入契約は、すべて平成28年3月31日で補償期間が終了します。

平成28年度の保険加入につきましては、現在受付中ですので、お早めにお手続きください。

「平成28年度の補償金額と保険料」

ボランティア活動保険

地震・津波・噴火によるケガも補償される「天災タイプ」なら更に安心!

補償内容・保険料

保険金の種類	プラン	Aプラン	Bプラン
死亡保険金		1,200万円	1,800万円
後遺障害保険金		1,200万円(限度額)	1,800万円(限度額)
入院保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
手術保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
	外来の手術	32,500円	50,000円
通院保険金		4,000円	6,000円
特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各種補償金額(保険金額)に同じ		
葬祭費用保険金(特定感染症)		300万円(限度額)	
賠償責任保険金(対人・対物共通)		5億円(限度額)	

保険料

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		300円	450円
天災タイプ (基本タイプ+地震・噴火・津波)		430円	650円

ボランティア行事用保険

地域福祉活動・ボランティア活動の一環として行われる各種行事が対象です。

補償金額(保険金額)

Aプラン・Bプランとも(Aプランは熱中症急病補償特約セット)

保険金の種類	補償内容
死亡保険金	400万円
後遺障害保険金	400万円(限度額)
入院保険金	3,500円
手術保険金	入院中の手術 35,000円 外来の手術 17,500円
通院保険金	2,200円
対人事故	1名・1事故2億円(限度額)
対物事故	1事故1,000万円(限度額)

保険料(1名当たり)

Aプラン(宿泊を伴わない行事)、Bプラン(宿泊を伴う行事)の2プランがあります。

プラン	A1行事	A2行事	A3行事
1日28円 (最低保険料:560円) (最低加入人数:20名)	1日126円 (最低保険料:2,520円) (最低加入人数:20名)	1日248円 (最低保険料:4,960円) (最低加入人数:20名)	

Bプラン(宿泊を伴う行事)

1泊2日(2日間)	239円	4泊5日(5日間)	352円
2泊3日(3日間)	293円	5泊6日(6日間)	357円
3泊4日(4日間)	298円	6泊7日(7日間)	362円

権利擁護センター あすてらすやいた

高齢の方や障がいのある方の権利と財産を守り、地域で安心して自立した生活を送れるようにお手伝いするのが、権利擁護センター「あすてらすやいた」です。

◎次のようなことでお困りの方はお気軽にご相談ください。

- ・日常的な金銭の管理に不安がある。
- ・福祉サービスの利用手続き等の手伝いをしてほしい。
- ・通帳や印鑑等の保管に不安がある。
- ・一人暮らしの生活に不安がある。など

◎必要に応じて次のような3つのサービスを利用することができます。

- ◆金銭管理サービス
本人に代わって預貯金の出し入れ、公共料金や家賃の支払い等を行います。
- ◆生活支援サービス
様々なサービスについての情報提供や専門家の紹介、サービス申し込み手続きの代行や、同行安否確認等を行います。
- ◆書類等の預かりサービス
預金通帳、権利書、保険証書、実印等を安全に保管します。

ご利用までの流れ

1 相談の受付
(窓口または電話で)

2 相談の打合せ
(担当者がかうかがって一緒に支援計画を作成します)

3 契約

4 サービスの開始
(直接、生活支援員がサービスを開始します)

問い合わせ ☎43-8700

無料で貸し出しています

※詳しくは、矢板市社会福祉協議会にお問い合わせください。

◎リフト付ワゴン車
(ガソリン代はかかります)

無料です。ガソリン代だけかかります。
(返納時にガソリンを満タンにする)
利用する3日前(土・日を除く)までに社会福祉協議会にお申し込みください。
電話予約もできます。

◎車椅子(大人用・子ども用)

一時的に車椅子が必要な方にお貸ししています。

◎きずな館2F会議室

ボランティア活動を目的としたグループが無料で利用できます。
*ボランティア登録が必要
月～金曜日 午前9時～午後5時
土曜日 午前9時～午後3時
利用申し込み 事前に電話で申請してください。
休館日 日曜日、国民の祝日、12月29日～1月3日

申し込み・問い合わせ
矢板市社会福祉協議会 ☎44-3000

困りごと・悩みごとはこちらまで!

◆無料法律相談会

- 日時: 毎月第3木曜日
(休日等の場合は翌日)
9時～12時
- 場所: きずな館 2F会議室
- ◎予約制 相談日前月の10日から受付

◆心配ごと相談

- 日時: 毎週火曜日
(第2火曜日、祝日を除く)
9時～13時
※平成28年4月1日から時間が9時～12時に変わります。
- 場所: きずな館 2F会議室
- ◎予約不要 直接おいでください

申し込み・問い合わせ
矢板市社会福祉協議会 ☎44-3000

◆成年後見無料相談会

- 日時: 奇数月第3水曜日 10時～12時
- 場所: きずな館 2F会議室
- ◎予約制 事前に予約が必要です
- 問い合わせ・予約受付
矢板市地域包括支援センター
☎43-4611

福祉のこころ推進校に認定された 矢板高校の活動を紹介します



シンビジュームを
理事長さんに

平成27年12月11日(金)に矢高生17名が特別養護老人ホームつつじ苑を訪問して、花やクリスマスツリーをプレゼントしました。



施設前の駐車場で寄贈する花を
プランターに植替えました。
農業経営科の学生さんが大活躍です。



施設でクリスマスツリーの
飾り付けをしました。



◎これからの「福祉のこころ推進校」の取り組みは…

来年度も推進校では、①地域行事へのボランティア活動参加②サマースクールを通じた地域との交流③福祉まつりへの模擬店出店等に取り組み、福祉のこころを育みながら地域福祉活動を推進していきます。また、新たな試みとして、学生さんから「福祉標語」を募集する福祉啓発活動にも取り組んでいきます。

「福祉のこころ推進校」の認定校がさらに増えるよう、教育機関と連携し、福祉のまちづくりに取り組んでいきたいと思ひます。



あとがき

新しい年になって二か月がたちましたが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。平成二十八年も社会福祉協議会をよろしくお願ひいたします。東日本大震災から五年になります。私たちにできる事は、事前に災害に備えておくことでしょうか。